

会長メッセージ

第9回全国中学生弓道大会に会長代行で出席してきました。開会式では、前年度優勝の香芝中学、技能優秀校の香芝中学・天理南中学からそれぞれ優勝杯、技能優秀杯の返還を受けとる栄誉に浴しました。

今年も男子は3位入賞、女子もほしいところで惜敗、奈良県勢は良い弓を引いていました。

大会の印象としては、地連間格差を痛切に感じました。指導者のいるところでは、これが中学生かと思われるような、立派な弓を引いている生徒もおれば、参加することに意義のあるそんな生徒もありました。

その点奈良県は恵まれていると思えました。これも、中体連と県連指導部・強化部の連携、また高体連との連携がうまくいっているおかげです。この伝統を活かし、伸ばしていってほしいものです。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

◆東大寺大仏殿大式的執行



平成24年8月25日

(土)に東大寺大仏殿前芝生広場で小笠原流の射礼(じゃらい)が執行されました。

この行事は、東大寺が平安時代の南都焼き討ちで焼失した大仏殿の再興に尽力した重源上人と頼朝公との絆、奈良と鎌倉との絆をより深くするために行われました。日記役(総裁)を仲川奈良市長が務め、東大寺狭川普文執事長らが見守るなか、午前11時から約2時間半、炎天下の中、定められた厳格な作法でもって執り行われました。参加者は先に行われた伊勢での合宿稽古に参加した者を中心に、弓道連盟からは、大阪の中野会長、奈良からは吉本会長の代理で、藤岡事務局長に参加していただきました。熱中症の一手手前までなりそうな人も出ましたが、無事執行できました。

受付をはじめ諸役のお手伝いいただいた方ありがとうございました。この様な伝統行事は、参加することにより、次の世代に引き継がれていくと思っています。次の世代を担う若者たち、堅苦しく思わず、機会があれば参加してください。

(新 司 正 人)

◆第9回全国中学生弓道大会 JOCジュニアオリンピックカップ

開催日：8月25日(土)～26日(日)

場所：全日本弓道連盟中央道場・明治神宮至誠館弓道場

主催：財団法人 全日本弓道連盟

主管：東京都弓道連盟

男子団体の部 香芝中学校 3位入賞

男子個人の部 香芝中学校 上山 友暉 6位入賞

47都道府県中、今年は40都道府県から男子37団体、男子個人42名、女子42団体、女子個人41名の選手が参加しました。開会式では優勝杯、技能優勝杯(男女)を奈良県から返還し、吉本清信先生の矢渡しで大会が始まりました。前日の公開練習から、暑さの厳しい大会でした。そんな中、男子団体の部で香芝中が3位入賞、男子個人の部でも香芝中の上山友暉選手が6位入賞を果たし、今年も奈良県勢が活躍しました。奈良県勢の結果は次の通りです。

<予選>

女子個人

上田春菜(香芝中3年) 8射7中【予選通過】

男子個人

上山友暉(香芝中3年) 8射5中【予選不通過】

→予選通過者が8名に満たなかった為、6～8位決定の
同中競射(遠近法)により 6位入賞

男子団体 香芝中 24射11中【予選通過】

(上山友暉、藤山享紀、平田真悟)

女子団体 橿原中 24射11中【予選通過】

(熊木亜純、橋本優美、徳永亜希)

<決勝>

女子個人(射詰め)

上田春菜 × →入賞ならず

女子団体

決勝トーナメント1回戦(12射)

橿原中 6-6 文大杉並中(東京)

同中競射(3射)

橿原中 1-2 文大杉並中(東京)

→入賞ならず

男子団体

決勝トーナメント1回戦(12射)

香芝中 8-7 皇徳寺中(鹿児島)

同2回戦

香芝中 7-3 不知火中(熊本)

同準決勝戦

香芝中 5-8 松戸六中(千葉)

→3位入賞

(報告者：香芝中 藤原)

◆第8回近畿中学生弓道大会

日時 平成24年7月28日
主催 近畿地域弓道連合
会場 大阪城弓道場
種目・種別 男女近的 団体戦及び個人戦
結果

〈団体女子〉

- 1位 榎原B(熊木亜純 橋本優美 徳永亜希)
- 2位 香芝B(山本真鈴 倉田茂枝 泉明弥香)
- 3位 香芝A(弥富舞羽 上田春菜 渡邊鞠子)

〈男子個人〉

- 2位 冨樹貴一朗(榎原)

〈女子個人〉

- 1位 的場帆花(八木)
- 2位 山本真鈴(香芝)
- 3位 徳永亜希(榎原)



◆全日・国体・ねんりんピック壮行射会

+県トーナメント射会

日時：平成24年9月2日(日)
会場：県立榎原公苑弓道場 参加者：69名



全日本弓道選手権大会、全日本弓道遠的選手権大会、国民体育大会、ねんりんピック弓道交流会に出場する選手を囲み、壮行射会を行いました。午前中に新司先生の矢渡しの後、各大会の出場選手による素晴らしい演武が行われた。昼食時には、各選手の決意表明、会員からの激励の言葉が贈られ、和やかに壮行会を行いました。午後からは、一変して午前中に実施した予選を勝ち残ったチームと国体出場チーム(成年女子・少年女子)とでトーナメント戦が行われ真剣な試合が行われました。結果は以下の通りです。

結果：
優勝：(国体少年女子)
中西珠美、南方由紀、高松愛美
2位：阪中計夫、中谷邦弘、竹村邦夫
3位：(国体成年女子)
東中千佳、林秀子、白井礼子
3位：小野温美、松澤和実、奥戸由美

(競技部)

ともに練習を重ねて

奈良支部 松澤和実

9月2日(日)、榎原公苑弓道場にて壮行会に参加しました。タイトル通り、岐阜国体・全日本近的選手権(東京)・全日本遠的選手権(東京)・ねんりんピック(仙台市)の各大会に出場する選手を「前途を祝して激励し、送り出す」会。

矢渡しの後、各代表の演武が行われました。全日本近の出場者・遠の出場者は堂々と貫禄をもって、ねんりんピック出場者はゆったりとじっくり練達の射、国体成年女子は、清しく堂々と、少年女子は凛として……。皆さん大勢に見られながらの射は緊張したことでしょう。この緊張感のある、今から大きな試合に挑むんだ、という感じは見ている方もわくわくしてきます。

そして参加チームによる競技が始まります。ここで勝ち抜いたチームは、トーナメント戦に進み選手達と競技することができるわけです。なんと、トーナメントに残りたい。今年はこの思いが強くある年でした。というのも、4月の国体強化選手決定からの数ヶ月間、同じ目的を目指し、一緒に時間を共有し、一緒にたくさんの汗をかいた仲間と、やはり壮行会で同じ時間を共有したい。私たちは国体のメンバーにこそなれませんでした。後押しする仲間でありたいと思いました。

何とかトーナメントに残れることになり、抽選の結果、国体成年女子とは勝ち抜いて決勝までいかないことになりました。「決勝まで頑張ろうね」中りのよくない私としては無謀な発言でしたが、口にするだけで頑張る気持ちも強くなる気がします。結果としては、トーナメントの準決勝でどちらも破れ、1位少年女子、2位先生方チーム、3位に成年女子と私たち強化Bチームが仲良く並ぶことになりました。

選手たちを囲んでの昼食会では、選手からの決意や参加者からの思いをお互いに聞いて和やかに過ごすことができました。選手とだけではなく、他の支部や教室の方たちとも「奈良県がんばれ」という同じ思いを共有できたと思います。

壮行会に参加された方も、ここに参加できなかった人たちも、皆で応援しています。それぞれの大会で一生懸命弓を引いて来てください。

◆奈良県女子弓道講習会

7月8日(日) 橿原公苑弓道場にて、梅雨晴れの中、美しい着物姿で勢揃いした女子会員38名が皆、真剣なまなざしで、講習会に臨みました。

初めに、主任講師の西中先生より、県の弓道人口は男女半々ですが、50歳以下をみると女子の数が多。これからは女子が県を担う事になるかも知れない。稽古に励むようにと、お話がありました。

今回、私は矢渡しの大役を仰せつかり、講評では、呼吸で動作を行う事の大切さを再認識させていただきました。一手行射のあと、深田先生より、ゼッケンのつけ方、長襦袢と着物の袖が合うよう工夫すること、襷の長さを調整することなどとともに、襷さばきの研修があり、不慣れな方にも、丁寧にご指導いただきました。

そのあと、阪中先生より、入退場、矢番えの研修を徹底して行われ、かぶせ足にならない事、矢番えは肘で行う事を教えていただきました。

射技研修で個々にご指導いただき。最後に西中先生より、今回研修したことを皆が揃って正しくできるように。射技では、胸で引くのではなく、背中中の筋肉を使い、角見の研究をするようにとお言葉をいただき、終了しました。

暑い中、熱心にご指導いただいた西中先生、深田先生、阪中先生、進行していただいた西浦先生、本当にありがとうございました。(松村 由喜子)

◆第65回 近畿高等学校弓道大会 団体県予選会

9月11日(日) 橿原公苑弓道場

参加者 団体戦 男子36チーム 女子31チーム
男子団体

- 1位 高田商業高校Aチーム (24射21中)
福岡良剛 大古凌也 當麻直哉 藤本凌介
- 2位 橿原高校Aチーム (24射16中)
高井優志 松本浩幸 小西健太郎 岸田観
- 3位 奈良高校Bチーム (24射15中)
柴田一輝 谷川卓伸 大和智彦 辻田大起
(3位は同中競射により決定)

女子団体

- 1位 平城高校Bチーム (24射17中)
山床杏莉 橋本あかり 西岡くるみ 若林志歩
- 2位 法隆寺国際高校Aチーム (24射14中)
寺下萌子 比嘉実沙衣 越知怜奈 木村真帆
- 3位 五條高校Aチーム (24射13中)
中西珠美 福井理恵子 平己亜美 堀本奈未
(3位は同中競射により決定)

以上の結果、男女上位3校が11月3日～4日に橿原公苑弓道場で行われる近畿大会に出場します。また、開催県枠とし男子五條高校、女子高田商業高校(予選第4位)も出場します。(高体連)

国体近畿ブロック大会を終えて

(少年)

本年度国体近畿ブロック大会は、8月19日に和歌山県田辺市弓道場での開催でした。少年チームは、男子が監督高塚、大前福岡(高田商業2年)、中立三木(王寺工業3年)、大落田中(高田商業3年)のチーム、女子が監督澤、大前中西(五條3年)、中立南方(高田商業3年)、大落高松(高田商業3年)のチームで大会に臨みました。

遠的は、男子が1回目福岡が皆中し、1位タイの9中と、好位置につけました。2回目は、福岡、田中が皆中し9中、合計18中でしたが、大阪、和歌山、滋賀が高的中を出し、4位タイとなりました。女子は1回目が6中と苦しいスタートとなりましたが、2回目は南方と高松が皆中し、10中、合計16中で2位タイの好位置につけました。

午後からの近的では、男子が1回目8中とやや苦しいスタートになりました。逆転をかけて臨んだ2回目も、本来の射を取り戻すことができず7中、合計15中で4位となり、総合5位で本国体出場を逃しました。

一方の女子は、1回目に中西と高松が皆中し、11中とトップにたちました。勝負のかかった2回目は、高松が再び皆中して9中、合計20中で1位となり、総合では和歌山に及ばず2位でしたが、見事本国体出場を決めました。

男女で明暗が分かれていましたが、男子も、インターハイ優勝、技能優秀校の高田商業の2人のメンバーと三木、杉井(王寺工業2年)、小西(橿原2年)の素晴らしいチームで堂々と戦ってくれました。今年の悔しさバネにを3人の2年生が、来年必ず本国体出場をはたしてくれるものと思っています。

今年もインターハイに出場する選手が多く、全員揃っての練習は2週間ほどでしたが、特に炎天下での遠的練習は選手たちにとって相当厳しいものであったはずですが、誰一人として練習を休むことなく、ブロック大会に臨んでくれました。男女ともチームワークがよく、男子は杉井、小西、女子は前田(高田商業2年)、園田(橿原2年)が練習ではよきライバルとして競い合い、大会ではチームをしっかりとサポートしてくれました。

少年女子チームは、10月に行われる岐阜国体では、秋田国体(男子遠的2位、女子近的4位)、新潟国体と千葉国体(いずれも女子遠的2位)の成績を超えられるよう頑張りたいと思います。

最後になりましたが、少年チームをご指導下さった方々、遠方にもかかわらず応援に駆けつけて下さった方々に心より感謝申し上げます。

(文責 澤)

支部だより

◆第24回奈良市弓道近的選手権大会
兼 第3回会長杯争奪戦

8月5日 会場 奈良市弓道場

競技内容 四つ矢 2回(1回目座射・2回目立射)

当日は、猛暑の中開催されました。開会式で、新司会長より高田商業高校がインターハイで、団体優勝及び、技能優秀賞を獲得されたことの報告があり、みんなで健闘を称えました。喜ばしい結果に、後押しを受け 総勢87人(内12人高校生)が上位を目指し、奮闘されました!!

結果は以下の通りです。

【結果】

無段の部	一位	久次米 陸	(西ノ京高校)
	二位	東川 勇人	(奈良高校)
	三位	喜多 のぞみ	(奈良高校)
初・弐段の部	一位	丹羽 實	(市協会)
	二位	太田 和宏	(市協会)
	三位	増田 勝蔵	(市協会)
参・五段の部	一位	天野 孝雄	(市協会)
	二位	揚田 よう子	(市協会)
	三位	加藤 敬子	(市協会)
称号者の部	一位	野尻 祥枝	(市協会)
	二位	森内 茂	(市協会)
	三位	明瀬 綾子	(市協会)

《右上につづく》

優秀賞 久次米 陸 (西ノ京高校)
会長杯 男子の部 天野 孝雄 (市協会)
女子の部 野尻 祥枝 (市協会)

最後の講評の中で、新司会長より看的について、ご指摘がありました。○×のタイミングが遅かったり、誤ったりすることがあったので、的に集中することで、的中の正確さ、スムーズな進行につながるのでは、とおっしゃられていました。個々に責任感をもって行動を心がけることの大切さを再認識しました。

参加者全員のご協力もあって、予定時間より早く終了しました。また、当日朝から矢道の草刈りをして頂いた方々のお蔭で、気持ちよくひくことができました!

ありがとうございました!

(藤田 舞)

編集後記

松村さんの原稿は先月にいただきながら、紙面の関係で今回になってしまいました。お詫びいたします。

今月もたくさん投稿いただきましたことに御礼申し上げます。次号へもよろしく。